|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名【R3年度】 | | | 医療機関受診勧奨  **個別保健事業計画・評価　　　　保険者名（長久手市）　　国保ヘルスアップ事業申請　有（ A　　 B　　 C　）　 無**　注：青の囲み部分は事業実施後の評価時に記載 | | | | | | | | |
| 背景（データヘルス計画との関係性・健康課題・計画での位置づけ） | | | ①健診は毎年受けていて、保健指導の対象となっているが、保健指導や医療機関の受診がなく、悪化している人がいる。  ②糖尿病の治療（血糖値のコントロール）は継続して行う必要があるが、数値が改善したために自己判断で治療を中断してしまい、結局悪化してしまう人がいる。  令和2年度に実施した受診勧奨通知(放置)の通知対象者117名を性別にみると女性の割合がやや多く、年代では60代の対象者が多い。リスク別にみると、脂質リスク者が多い。  【令和2年度実績】受診勧奨対象者　117人　受診勧奨通知件数　117件（100％）　受診勧奨者のうち、医療機関を受診した人　19人（17.9％※通知前受診11人除く）2月診療分時点 | | | | | | | | |
| 目的 | | | 対象者ごとのリスクにあわせて対応し、重症化を防ぐ | | | | | | | | |
| 対象者  周知・募集方法 | | | ・（放置）特定健診を受診した人のうち、高血圧・糖尿病・脂質異常症の疾患の治療がなく、血圧、血糖、脂質の値が受診勧奨判定値を超える人。  ・(中断）基準となった処方月の期間内のレセプトに生活習慣病（糖尿病・高血圧症・脂質異常症）の傷病があり（疑いを除く）、且つ、生活習慣病の薬剤処方がある人のうち、基準となった処方月の翌月から最低でも4ヵ月以上、医療機関受診が無い人。  ・(腎）特定健診を受診した人のうち、eGFR、尿蛋白の値が受診勧奨判定値を超える人。 | | | | | | | | |
| 事業内容 | 実施期間  実施日時  実施場所  内容 | | ・（放置）対象者ごとに糖尿病、高血圧、脂質、複数リスク有に分けて通知を行う（毎月）  ・（中断）レセプトから4か月以上の治療の中断がみられる人に対して通知を行う（12月）  ・（腎）健診結果から腎症のリスクがある人に対して通知を行う（3月）  ・通知発送後も医療機関の受診が確認できなかった人に対して、随時保健師、栄養士から電話による勧奨を行う | | | | | | | | |
| 実施体制  （従事者・担当ごとの役割等） | | ・保険医療課：事務1名（通知発送等管理）　保健師、管理栄養士3名（電話勧奨）  ・株式会社ＪＭＤＣ：対象者抽出、通知作成 | | | | | | | | |
| 今年度の重点目標 | | | 受診勧奨者のうち、医療機関を受診した人の割合を60％にする。 | | | 重点目標に対する実施後の評価 | 2月3日時点　通知発送者92人　通知前受診者11人　資格喪失者1人　効果検証対象者80人  6名受診（8％） | | | | |
| 目標  評価指標 | | 区分 | 事　業　計　画 | | | 実施後の評価（＊達成度　Ａ：目標達成　Ｂ：目標達成していないが改善　Ｃ：変化なし　Ｄ：悪化　Ｅ：判定不能） | | | | | |
| 指標（事業番号ごとに設定） | 目標値 | 評価（データ入手方法・  入手先・時期） | 指標の評価結果 | | 達成度＊ | 成功・推進要因 | 課題・阻害要因 | 全体評価・今後の方向性 |
| ストラク  チャー | 適切な委託業者を選定する | 適切な委託業者を選定する | 事業終了後 | 適切に選定した。 | | A | レセプトや健診の結果から、対象者に合わせた内容を適切なタイミングで通できた。 | 電話勧奨やその実施状況の管理をするための時間（人員）がたりない。 | 2月時点では、通知発送者に対して受診者が８％と十分な結果とはいえない状況であった。今後、受診していない者については、管理栄養士や保健師から電話での受診勧奨を継続して実施する。  ハイリスク者においてはより積極的に介入をしていく。 |
| 業務に従事するマンパワーの確保 | 必要数を確保する | 事業開始時及び終了時 | 計画どおりの人員で実施できたが、電話勧奨の実施状況の管理などをするための人員が不足した。 | | B |
| プロセス | 対象者の適切な抽出 | 対象者を適切に抽出する | 事業開始時及び終了時 | 受診勧奨判定値を超える人をハイリスク者と通常リスク者に分けて抽出した。  治療中断や腎症リスク者も適切に抽出できた。 | | A |
| 対象者への勧奨通知の内容・送付時期の適切性 | 適切な内容の通知を適切な時期に発送する | 事業終了後、次年度健診結果から評価 | 放置の対象者については、健診受診後　６か月以内に通知できた。  治療中断や腎症リスク者についての、計画通り通知することができた。（腎通知は予定） | | A |
| アウトプット | 対象者への通知発送率 | 100％ | 事業終了後（1月） | 全員に通知を発送した（100％） | | A |  | － |
| アウトカム | HbA1c6.5以上で治療なしの人の割合 | 1.8％ | 次年度健診結果 | － | |  |  | 通知発送後、反応がない人に電話勧奨ができていない |
| 受診勧奨者のうち、医療機関を受診した人 | 60％ | 通知後のレセプトで確認 | 6名が受診した（8％） | | C |  |